

7 令和3年度 事業のまとめ

横浜市立図書館では、『横浜市立図書館運営実行プラン（以下、「運営実行プラン」）』の進行管理のため、「図書館の目標」を策定し、年度ごとに振り返りを行うことで進捗状況を確認しています。目標や振り返りは、ホームページで公開しています。

令和3年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた取組の変更・中止などがありましたが、感染症防止対策を行いながら事業を実施しました。

重点項目1 誰もが利用しやすい図書館づくり

(1) 図書館のイメージアップと利用促進のための企画・イベント等実施

イベント等の実施

・令和3年度は横浜市立図書館開業100周年を迎え、6月の記念式典・講演会をはじめとした、多くの記念事業を実施しました（P.5）。

横浜市立図書館の100年のあゆみを紹介するパネル展示を、全館で実施しました。100周年に合わせて開設した、期間限定のTwitterアカウント「100ページ目のことばたち」では、本の100ページ目に載っている心に響くことばを紹介しました。また、ツイートしたことばと写真をパネルにして、10館で展示しました。

企画展示「横浜 DeNA ベイスターズ×横浜市立図書館」では、誕生10周年目を迎えた地元球団との連携で、9館で選手のおすすめ図書やパネルを巡回しました。また、全館での子ども向け事業「なつやすみ図書館 de ビンゴ」は、100周年を迎えた交通局、70周年を迎えた野毛山動物園と連携して作成したオリジナルのしおりを配布しました。



100周年記念講演会
講師 鈴木敏夫氏
(スタジオジブリ・プロデューサー)



「なつやすみ図書館 de ビンゴ」オリジナルしおり

・各区の読書活動推進目標に基づき、各館で区と連携した読書講演会（P.29-P.33）や周年事業（港南図書館、旭図書館（35周年））（P.34 表（4））に取り組みました。

【区と共催した読書講演会等の例】



戸塚図書館
読書講演会
「夢をあきらめない」



神奈川図書館
神奈川区読書活動推進
講演会「「なぜ？」から
始まる思考力の育て方」
(動画配信)

財源の確保の取組

・引き続き広告事業に取り組み、ホームページのバナー広告、館内のパンフレットラックの設置などの図書館広告事業による令和3年度の歳入額は3,109千円、節減額は1,155千円でした。

・横浜市ふるさと納税による寄附制度は平成30年度から開始し、令和3年9月現在で、約2,100千円のご寄附をいただきました。このうち令和3年度は、306千円を活用し、ブックリスト「はじめてであうものがたり」掲載資料を中心に子ども向けの本を312冊購入しました。

(2) 誰もが利用しやすい図書館サービスの充実

- ・1月に「日吉図書取次所（愛称：日吉の本だな）」を開設しました（P. 4）。開設に合わせて、イベント「日吉の本だなに「はまかぜ号」がやってくる！」を実施しました。当日は多くの方にご参加いただき、「はまかぜ号」での図書の貸出のほか、約400人の方の新規登録を受け付けました。
- ・移動図書館「はまかぜ2号」を製作し、3月30日にお披露目を行いました（P. 4）。
- ・公衆無線LANの提供を、新たに鶴見・港南・金沢図書館で開始し、15館でサービスを利用できるようになりました。中央図書館では4階に加え、地下1階、3階、5階に利用可能エリアを拡大しました。
- ・中央図書館では、利用者持込みの個人用パソコンを、4階に加え3階でも利用できるようにしました。（令和4年3月30日サービス開始）

(3) 広域相互利用の拡大

4月より、逗子市との広域相互利用を開始しました。これにより、横浜市と隣接する7市（鎌倉市、川崎市、逗子市、藤沢市、大和市、横須賀市、町田市）全ての市民の皆様が、互いに本を借りることができます。

(4) 人材育成の推進

- ・「司書職人材育成計画」に基づいて、新採用職員向け研修、レファレンス、選書、障害者支援事業等に関する研修を実施し、職員の能力・知識の向上に努めました。
- ・神奈川県立図書館等が主催する外部研修にも職員が参加しました。日本図書館協会主催の児童サービス専門研修の受講者による報告会を行い、知識の共有を図りました。

(5) 地域と連携した読書活動の推進

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2年度に比して、ボランティアによるおは

なし会等の活動が増加しました。図書修理や書架整理など、図書館の環境整備にもボランティアが活躍しました（P. 36 表(8)）。

- ・図書館や地域で活動するボランティアの交流会や懇談会については、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で中止や紙面開催となる場合もありました（P. 37 表(9)）。
- ・旭図書館では地域ケアプラザで活動するボランティアの養成講座を実施しました。ボランティアの新たな活躍の場の確保とともに、地域での定期的なおはなし会の開催へ繋がりました。
- ・金沢図書館では、令和2年度に実施した「わらべうたと絵本の会」ボランティア講座の受講生から発足したボランティアグループに対して、区民活動支援センター「ゆめかもん」と連携した支援を行いました。親と子のつどいの広場や、地区センターでの自立的な活動へと発展しました。

(6) これからの図書館についての検討

- ・図書館サービスの充実に向けて、これからの図書館に求められる機能や、図書館のあり方の検討を進めています。
- ・令和5年度の図書館情報システムの更新に向けて、総合評価落札方式にて入札を行い、システム設計開発事業者を決定しました。

重点項目2 子どもの読書習慣の定着への支援

横浜市立図書館では、子どもが自ら読書に親しみ、よりよく生きていくための力を養うことができるよう、児童サービスを行っています。

(1) 家庭での読書活動の推進

- ・全館で定期的におはなし会を開催しました。その場で楽しむだけでなく、プログラムの配布、絵本の貸出を行い、家庭での読書につながるきっかけづくりを行いました。子どもだけでなく、親子で参加できるおはなし会も多数開催しました（P. 35 表(5)）。
- ・司書のおすすめ本を紹介する企画展示や、季節やテーマに合わせた定期的な本の展示を全館で実

施しました。子ども自身や保護者の本選びを支援しました。

- ・乳幼児絵本やわらべうたを紹介する冊子「おひざにだっこで楽しむ絵本」を増刷(30,000部)し、区役所の乳幼児健診会場や保育園等に配布しました。

- ・子ども自身が初めて物語の本を選ぶための冊子「はじめてであうものがたり」を新たに作成しました。



(2) 学校教育への協力、学校図書館充実のための支援

- ・横浜市立図書館と同じく令和3年度に100周年を迎えた稲荷台小学校(西区)、南太田小学校(南区)と中央図書館が連携し、児童の作品展示、図書委員向けの出張製本教室などを実施しました。



中央図書館
「稲荷台小学校 100周年コラボしおりの配布」

- ・学校からの依頼に応じ、全館で児童生徒向けの図書館見学、図書館インタビュー等の受入れのほか、学校を訪問し、学校図書館ボランティア向けの図書修理講座を実施しました。また、学校教育

への支援のため、学校向けセット貸出(※1)、教職員向け貸出、レファレンスサービスを実施しました(P.22 表(13))。

- ・学校向けセット貸出では、学校からのニーズに応じて新しいテーマの図書セットを増やすとともに、既存のテーマについてもセット数を拡充しました。

- ・外国につながる児童生徒の支援のため、各言語で書かれた児童書や語学学習用図書について、国際教室設置校を中心に市立学校に対し、「母語セット」として貸出しを本格実施しました。あわせて、取扱う言語の種類を増やし、サービスの拡充を図りました(所蔵冊数 約3,800冊)。

- ・学校図書館に向け、おすすめの新刊情報のほか、学年別おすすめ本リスト「読んでみようこんな本」や各図書館が作成した図書リストなどを提供しました。

(3) ティーンズ世代の読書活動の促進

- ・新たに、全館のティーンズ担当者が参加するティーンズサービス情報交換会を年3回行ったほか、ティーンズ向けの図書紹介の方針を検討するための部会を行いました。

- ・金沢・緑・都筑・泉図書館では、ティーンズ世代からのおすすめ本のポップやパネルの展示を行いました。

- ・夏季を中心に、ティーンズ向け業務体験・ボランティア体験を、港南・保土ケ谷・金沢・緑・瀬谷図書館で行い、延べ32人が参加しました。

- ・夏季休業終了に合わせて、全館のティーンズコーナーを、横浜市立図書館 Twitter アカウントで写真とともに紹介しました。

- ・ハートフルスペース(※2)を利用する生徒向けに「ライブラリーツアー@中央図書館」を実施



緑図書館
「中学生ボランティア体験」

※1 学校向けセット貸出: 学校の授業で取り上げることが多いテーマ等について、テーマごとに20冊から40冊の図書をまとめて学校に貸出する制度。

※2 ハートフルスペース: 不登校状態にある児童生徒に対し、基本的な生活習慣の確立、基礎学力の補充、学校生活への適応等を図り、社会的自立に向けた相談や支援を行う横浜市教育委員会事務局が運営する施設。

しました。

(4) 地域での読書活動への支援

・地域で活動するボランティア向けに、読み聞かせ講座等を実施し、読書活動の担い手を育成しました (P. 36 表 (7))。

・鶴見・金沢・戸塚図書館では、子育て支援者や保育士など、子育てに関わる大人を対象にした読み聞かせの講座を実施しました。

・中央・鶴見・保土ヶ谷・金沢・山内・都筑・戸塚・泉・瀬谷図書館では、学校や地域での読み聞かせボランティア向け講座を開催しました。特に戸塚図書館では中級者向けに科学絵本を紹介するステップアップ講座を行いました。

・南図書館では、読み聞かせボランティアがおすすめる絵本の展示会を行いました。



南図書館
「南区おはなしボランティア
おすすめる本展示会」

・南・保土ヶ谷・磯子・金沢・山内図書館では学校や地域で活動するボランティアの方を対象にした、本の修理講座を開催しました。

・地域での乳幼児向けおはなし会の担い手を養成するため、市立図書館全体として「わらべうたと絵本の会ボランティア講座」(3回連続講座)を開催しました。令和3年度は鶴見・旭・中図書館で、石川道子氏を講師に迎えました。

(5) 児童サービス担当者連絡会の開催

新たに児童サービス担当者連絡会を開催し、市立図書館各館の児童サービスの取組についての情報交換や、研修報告を行いました。

重点項目3 蔵書とレファレンスの充実

(1) 地域の情報拠点としての蔵書の充実

・中央図書館を中心に、法律・ビジネス・統計・医学など、市民の課題解決・学習支援に役立つ専門

性の高い資料の収集に努めました。

・利用が多く、消耗が激しい子ども向けの物語や事典、紙芝居などの買い替えを重点的に行い、子どもの読書活動推進に活用しました。

・電子書籍コンテンツを新たに2,357点導入しました。様々なテーマで特集を組み、利用促進を図りました (P. 4)。

・司書職員の知識向上のため、選書研修を2回実施しました。

(2) レファレンスの充実

・司書職員向けに、レファレンス事例作成研修(9回)、レファレンス専門研修(地域資料について)(eラーニングを利用・通年)、レファレンスフォローアップ研修(1回)を実施しました。また各図書館のレファレンスサービスについて情報交換を行いました。

・レファレンス事例41件を、市立図書館ホームページ及び国立国会図書館レファレンス協同データベースにて公開しました。令和3年のデータベースでの被参照件数が43万件を超え、国会図書館より13回目の御礼状をいただきました。

また、公開した事例は、TwitterなどのSNSで発信し、レファレンスサービスのPRに努めました。

・新たに毎索(毎日新聞データベース)、産経新聞データベース、神奈川新聞Webマイクロフィルム、日経BP記事検索サービス、ジャパンナレッジLIB、eol 企業情報データベース、市場情報評価ナビMieNa、Mpac(マーケティング情報パック)を導入しました。(令和3年4月1日サービス開始)

(3) 資料の活用と情報発信

ア 中央図書館の主な取組

・図書館資料を活用した展示を115回実施しました。うち、市役所各部署や横浜市信用保証協会など、他部署・他機関と連携した展示を22回実施しました。



企画展示「横浜 1950～躍動する都市の肖像～」



企画展示「神奈川新聞で振り返る横浜市立図書館 100 周年」
(主催:神奈川新聞社)

・映画監督の中村高寛氏、ニュースパーク（新聞博物館）館長の尾高泉氏など、多岐にわたる専門家を講師に迎え、「ヨコハマライブラリースクール」（※3）を6回実施しました。「コロナ禍に情報を見極める力～日刊新聞発祥の地から SNS 社会のジャーナリズムを考える」では、3階で同時期開催した関連展示「横浜と新聞」会場にてフロアレクチャーも行いました。



企画展示「横浜と新聞」フロアレクチャー
(ヨコハマライブラリースクール「情報を見極める力」連動企画)

・デジタルアーカイブ「都市横浜の記憶」に、横浜市が刊行した行政資料などを 180 点登録し公開しました。また、既に公開している資料について目次情報の採録を行い、検索時のキーワードとして使えるようにしました。

※3 ヨコハマライブラリースクール：学術分野で最先端の研究成果を学ぶ「教養講座」、法律や経営など生活上の課題解決に役立つ知識を学ぶ「実用講座」の2シリーズを柱とする総合講座。様々な分野の研究者や専門家から直接話を聞くとともに、テーマに関連する図書に触れることで学びを深める。

イ 地域図書館の取組例

地域図書館でも、図書館資料を活用し、様々な取組を行いました（その他の主な事業は P. 30-34）。

(取組の一例・開催月順)

図書館名	内容・実施時期
都筑	展示「調べ学習に役立つ新しく出た子どもの本」（9月）
泉	写真展「横浜市交通局×横浜市立図書館」（10月）
金沢	展示「南国忌 直木三十五を偲ぶ」（1月）
港南	企画展示「ふるさとの魅力発見」（2月）
旭	展示「畠山重忠と鎌倉時代」（2月）
瀬谷	面白浮世絵展（3月）



泉図書館 写真展「横浜市交通局×横浜市立図書館」



金沢図書館 展示「南国忌 直木三十五を偲ぶ」



瀬谷図書館 「面白浮世絵展」